

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

2023年（令和5年）4月1日から2024年（令和6年）3月31日まで

目次

事業の総括	・・・ 2
1. 市民活動支援	・・・ 2
(1) ボランティア活動相談窓口での相談対応	
(2) 「NPO 法人向け勉強会」の企画運営	
2. 市民活動支援組織の連携・人材育成	・・・ 4
(1) 県内支援センター施設長会議の企画運営協力	
(2) 県内支援センターとの連携企画（出張相談会、インターン受入れ）	
(3) 県内支援センター職員向け研修会の企画運営	
(4) 中間支援パワーアップ研究会（仮称）の立上げに向けた活動	
3. 市民参加／地域人材育成	・・・ 6
(1) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営	
4. 企業、大学等との連携、協働推進に向けた取り組み	・・・ 11
(1) 災害時に機能する被災者支援のためのネットワークづくり	
(2) かながわ人生100歳時代ネットワークへの参加	
(3) 県域の仲介活動	
5. 講師・委員等の派遣	・・・ 12
6. 総会・理事会の開催状況	・・・ 13

## 事業の総括

2023年(令和5年)度、かながわ県民活動サポートセンターから受託した「アドバイザー相談業務」は、前年度と比べて相談件数が増え、NPO法人の設立・運営に関する相談が多数寄せられました。また、県内NPO法人を対象に、ファンドレイジングを基礎から学ぶオンライン学習会を県NPO協働推進課と協働で開催しました。

「アドバイザー相談業務」の一環として、県内市町の市民活動支援センターのセンター長を対象とした会議は対面で開催しました。県内支援センターの新任スタッフを対象とした研修会は自主企画として開催し、参加者に好評でした。

また、施設を運営しない中間支援組織と連携して、地域に必要とされる「草の根の活動を支援する力」を共に高めることを目的に「中間支援パワーアップ研究会(仮称)」の立上げに向けて準備を進めました。

「かながわコミュニティカレッジ運営業務」では、年間32講座(35本)の企画調整、広報、実施運営を行い、延べ1,078人の受講生に講座を提供しました。

県内外の自治体や団体などの依頼を受けて委員や講師を派遣したほか、県内6か所の市民活動支援センターから推薦を受けた団体に、明治ホールディングス株式会社からのお菓子寄贈の仲介をしました。

当法人、認定NPO法人市民セクターよこはま、認定NPO法人かながわ311ネットワークの3団体が立ち上げた「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(通称:みんな)」の活動では、県、県社会福祉協議会、県共同募金会、災害時の支援団体等と共に、災害に備えて県域の情報共有・連携体制づくりを進めました。

## 1. 市民活動支援

かながわ県民活動サポートセンター「アドバイザー相談業務」を受託し、かながわ県民活動サポートセンター9階「ボランティア活動相談窓口」にて、県内のNPO法人を始めとする非営利法人、任意団体・ボランティアグループを対象に、団体運営や活動上の課題への対応に向けた助言や情報提供を行いました。また、これからボランティア活動を始めたい人や団体を立ち上げたい人に向けた助言を行いました。

「ボランティア活動相談窓口」に寄せらせる様々な相談に、当法人の会員を中心とする相談員がシフトを組んで対応し、専門的な相談対応は外部相談員の協力も得ました。

「NPO法人の次世代育成」をテーマにした相談日を新たに設け、事業継承や解散、新しい運営体制を始めた法人の運営見直しの相談を受けました。横須賀市立市民活動サポートセンターと連携した「出張相談会」も行いました。

### (1) ボランティア活動相談窓口での相談対応 (アドバイザー相談業務)

#### <相談対応の実績>

かながわ県民活動サポートセンター9階「ボランティア活動相談窓口」に相談員を交代で配置し、2023年4月1日から2024年3月31日まで、毎週火曜～土曜の12時～16時、来訪・Zoomによるオンライン面談・電話・メールを通じて、市民・非営利団体(市民グループ、NPO法人)等からの相談に対応しました。

相談窓口では、さまざまな相談に初期対応する〔総合相談〕と、「法人設立・運営」「NPO 法人会計・税務」「資金調達」などテーマ別の〔専門相談〕を設け、幅広い相談ニーズに対応しました。

年間の相談件数は 494 件で、前年度に比べ増加しました。コロナ禍が収束して、オンライン相談が減少、対面相談が増えました（オンライン相談 4 件、来訪対面相談 168 件）。相談内容は、「法人の設立」「団体事務」「団体運営」に関する相談が多く、次いで「活動を始めたい」という相談でした。昨年度から引き続き「定款や事業計画書の書き方」や「団体の解散」に関する相談が増えています。団体のメンバー交代に伴う引継ぎや総会開催について、事業承継に関する相談にも対応しました。また、同一相談者が繰り返し相談に来られるケースも多かったです。

#### 〈ボランティア活動相談窓口の開設及び運営〉

- ・ 開設曜日・時間：火曜日から土曜日、12 時から 16 時
  - ・ 開設日数：247 日（前年度は 244 日）
  - ・ 相談件数：494 件（前年度は 429 件）
- （内訳）
- 〔総合相談〕 462 件
  - 〔専門相談〕 26 件（法人運営 19 件、NPO 会計 13 件）
  - 〔出張相談〕 6 件

#### 〈相談対応力の向上に向けた取組〉

- ・ 相談従事者会議（研修会含む）を年間 8 回、オンライン又は対面形式で開催しました。相談員間で相談事例を共有し、相談対応後の事例検討を行うことで、複雑な相談内容を専門相談員に適切につなげるよう知識を深め相談員の相談対応力の向上に取り組みました。
- ・ 相談従事者の個人情報保護研修を行い、個人情報保護法について改めて確認・認識すると共に、適切な運用について学びました。
- ・ 県民活動サポートセンターとの連絡調整会議に毎月出席し、事業の実施状況や課題等について情報共有や意見交換を行いました。県が所轄する NPO 法人の認証事務を行っている NPO 協働推進課横浜駐在所とは、相談実施体制や NPO 法人からの相談状況などについて意見交換を行いました。

#### 〈利用者アンケート〉

- ・ 利用者アンケートを対面相談者とオンライン相談者に実施しました（回答数 82 件）。アンケートに回答された方の多くが「これからの事業活動に役立つ情報や助言が得られた」「悩みや課題の解消・軽減につながる」と評価され、入念な準備のもとでの情報提供、適切なアドバイス、親身な対応に対して、感謝のコメントをいただきました。

## (2) 「NPO 法人向け勉強会」の企画運営（神奈川県委託事業）

神奈川県内のNPO法人を対象に、ファンドレイジングを基礎から学ぶオンライン学習会を県NPO協働推進課と協働で開催しました。

〔資金調達と団体運営のきほん～ファンドレイジングを基礎から学ぼう！〕

見直そう！～令和5年度NPO法人向け勉強会〕

- ・実施日：令和5年10月20日（金）13時～15時
- ・開催方法：Zoomによるオンライン研修（終了後1カ月アーカイブ配信）
- ・参加者数：神奈川県内のNPO法人 36団体44人
- ・内容
  - 第1部【講義】資金調達と団体運営のきほん～ファンドレイジングセミナー～  
講師：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事  
広報・ファンドレイジング統括責任者 三島理恵氏
  - 第2部【グループワーク】資金調達の工夫・アイデア、今後活かしたいこと  
4～5名のグループに分かれて、情報交換や意見交換を実施
    - ・自己紹介、講義を聞いて、今後こうしていきたいと思ったこと、資金調達や共感者を得るためのアイデアについて 等
    - グループ内で話されたことを全体共有

### 開催報告：NPO法人向け勉強会

#### 【第1部】資金調達と団体運営のきほん ～ファンドレイジングセミナー～

講師の三島理恵さんから、ファンドレイジングは「共感をマネジメントしていくこと」で、共感を軸に仲間を集め、社会課題の解決への参加を呼びかけていく方法であることを、「むすびえ」での具体的な取組などを交えて実践的にお話いただきました。また、日本の寄付の状況や、NPO法人の主な財源の種類とそれぞれの特徴、財源のバランス、戦略的ファンドレイジングについての説明がありました。短時間でしたが、自団体の財源整理や分析する個人ワークも行いました。

#### 【第2部】グループワーク

グループ分けを、認定の取得状況や活動分野、活動場所は考慮せず、ランダムに組み、様々な財源バランスや資金集めの方法の共有が行われました。参加者からは、「ファンドレイジングは団体のミッション・ビジョンを実現するための手段ということを再認識した」「自団体の状況が明確になった」などの感想がありました。

## 2. 市民活動支援組織の連携・人材育成

「アドバイザー相談業務」のなかで、県内の公設ボランティア活動支援施設（以下、「支援センター」と）との連携強化を目的に、センター長等を対象とした意見交換会の企画運営を担い、県内の支援センター間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。また、県内支援センターの連携強化と、支援センター職員の相談対応力の向上をめざし、希望のあった支援施設に相談員を派遣する「出張相談会」や、相談対応の現場を体験する「相談窓口でのインターンシップの受入れ」を行いました。

また、昨年度に引き続き、自主事業として支援センター職員向けに「新任スタッフ研修会」を行いました。

### (1) 県内支援センター施設長会議の企画運営協力（アドバイザー相談業務）

県内支援センターの施設長等による意見交換会を県と協働で企画・開催しました。

#### 〔県内ボランティア活動支援センター施設長会議〕

講演会・意見交換会の実施

実施日：令和5年9月21日（木）14時から17時

開催場所：かながわ県民活動サポートセンター コミュニティカレッジ講義室2

対象：県内の公設ボランティア活動支援施設の施設長や当該施設の所管課長

参加者：49名（内関係者：13名）

### (2) 県内支援センターとの連携企画（アドバイザー相談業務）

横須賀市市民活動サポートセンターと連携して、市民活動相談会を開催しました。また、県内支援センターの職員を3日間インターンとして「ボランティア活動相談窓口」に派遣いただき、相談対応の場に同席するなど相談対応実務を学ぶ機会を提供しました。

#### 〔出張相談会〕

日時：10月2日（月曜日）13時～17時

場所：横須賀市市民活動サポートセンター

相談件数：6件

派遣相談員：手塚明美、西島朝子

#### 〔ボランティア活動相談窓口でのインターン受入れ〕

実施期間：8月～11月の間で希望のあった3日間

参加施設：かわさき市民活動センター、ひらつか市民活動サポートセンター、  
小田原市民交流センターUMECO

参加人数：のべ5名

### (3) 県内支援センター職員向け研修会の企画運営（自主事業）

県内支援センターの職員（主に着任3年以内の初任者）を対象に研修会を開催しました。市民公益活動の特性、非営利活動団体（NPO）の組織・運営について基礎的な知識を深め、市民や地域の活動を支える支援センター職員としての心構えや役割について共に考えました。支援センターの職員同士の交流の機会にもなりました。

#### 〔ボランティア活動支援施設 新任スタッフ研修会（2023年度）〕

日程：2023年10月30日（月）13:30～15:30

場所：かながわ県民センター604会議室

参加者：県内支ボランティア活動支援施設の職員・スタッフ ○名

参加費：1,500円（1名あたり）

プログラム：

- ・ 講義「知っておきたい NPO の基礎知識／支援センタースタッフの役割とは」  
(講師 手塚明美/ (一社) ソーシャルコーディネートかながわ代表理事)  
「先輩スタッフとして新任スタッフに伝えたいこと」  
(ゲストスピーカー 小林由高/ 逗子文化プラザ市民交流センター副館長)
- ・ グループ討議と発表：感想と講師への質問。  
グループごとに感想共有・講師へ質問を考える。各グループから講師に質問。  
全体共有で今日の気づきと「明日から何をしますか？」を参加者全員が発表

#### 【参加者の感想】

- ・ 短い時間にバランスよく凝縮した研修内容で大変勉強になりました。
- ・ NPO に関する基礎的な知識、中間支援施設の役割などを学びました。特に NPO に関しては知らないことも多かったので、「NPO とはなんぞや」という初歩的なことから講義いただいたのがよかったです。
- ・ 新任同士が、同期と認識することができるグループ討議は重要

#### (4) 中間支援パワーアップ研究会（仮称）の立上げに向けた活動

市民自治社会づくりをめざして、市民活動を育て・つなぎ・支える目的で活動する個人・組織が集まり、共同学習・研究を通じて「中間支援」の役割・価値を再考し、地域に必要とされる「草の根の活動を支援する力」を共に高めることを目的に、「中間支援パワーアップ研究会（仮称）」の立上げに向けて、NPO 法人ぐらす・かわさき、公益財団法人かながわ生き生き市民基金のメンバーと打合せを重ね、2024 年度に実施する「NPO の事業評価の勉強会」の開催準備を進めました。

### 3. 市民参加・地域人材育成

#### (1) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民の「学びの場」です。ボランティアや NPO など、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当法人は「かながわコミュニティカレッジ運営業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、カレッジ事務局の運営を担いました。コミュニティカレッジの運営は 2015 年度より毎年委託を受け、今年で 10 年目となります。

事務局では、講座の企画調整や広報・実施運営を行い、ボランティアや NPO 等の活動を行う個人・団体の学びの場を支えました。また、講義室での対面講座に加え、オンラインでの講座やハイフレックス型講座も開催しました。一部の講座については講義を録音録画して後日受講生に配信するサービスも行いました。

#### <講座数、受講者総数>

2023 年度のコミュニティカレッジは「地域のつながり・支え合い」「災害救援・減災・防災」「団体運営・ICT 活用」「保健・医療・福祉」「子どもの健全育成」「人権」「環境・SDGs」「その他」の分野から多様なテーマで年間計 32 講座（35 本）を開講しました。（開講講座一覧は後述）。今年度の受講者数は延べ 1,078 人でした。

以下に、当法人が主体となって企画運営した講座、当法人の会員が講師として関わった講座、受講生交流会について詳述します。

### 〔特別講座「人生 100 歳時代のライフデザイン～これからのあなたが輝く視点と行動～）

これまでボランティア活動の経験がない方が参加しやすい講座として、下記の内容で無料のオンラインセミナーを開催しました。講演後に、かながわコミュニティカレッジ講座の紹介も行いました。特別講座に参加後、複数の方からコミュニティカレッジ講座に申し込みがあり、ボランティア・NPO 活動への参加につながるきっかけを提供できました。

参加者アンケートに回答いただいた 58 名は、男女比が半々であり、年齢層は 60 代が最も多く（34.5%）、次いで 70 代（29.3%）、50 代（27.6%）でした。また、回答者の 6 割強（67.2%）が初めてコミュニティカレッジ講座を受講したと回答しており、セミナーを受けて新たに地域活動に「参加したいと思った」は 38.6%、「すでに参加している」は 31.6% でした。

### 特別講座「人生 100 歳時代のライフデザイン～これからのあなたが輝く視点と行動～）

日時：7 月 1 日（土）13:30～15:00 オンライン

参加者：オンライン 76 名、会場視聴 3 名 計 79 名（申込数 105 名）

内容：（第 1 部）講演『これからのあなたが輝く視点と行動

50 歳からのライフシフト』

講師 関 伸夫 氏

（株式会社あびふる代表取締役

かながわ人生 100 歳時代ネットワーク構成員 ほか）

（第 2 部）コミュニティカレッジの紹介

#### 【参加者の感想（一部抜粋）】

- ・「高齢者が若者を支えていく」がこれから重要だと実感しました。
- ・とても分かりやすく説明していただき、行動が大切と更に感じました。
- ・身近で、地域社会で、一步、興味を持って踏み出す大切さを学びました。
- ・ボランティア活動をサポートする講座があることを知るよい機会になりました。
- ・今回の講座のおかげで、新しいことに挑戦していけそうです。
- ・とても良い刺激をうけました。何となく申し込んだものの、郵送頂いた資料も色々頂いて見聞が広まり有意義な時間を過ごせました。

#### かながわコミュニティカレッジオンラインセミナー



### 〔NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座〕

NPOに関する基礎知識、団体運営の実務について学びたい方を対象とした講座をオンラインで開催し、県内から多くの方に受講いただきました。聴覚障害のある方の参加があり、2名の手話通訳者に入ってください講座を運営しました。

講座名：NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座

日 程：2024年1月11日（木）、18日（木）、25日（木）、2月1日（木）全4回  
19：00～20：30

受講者：55名

受講料：3,600円

内 容：

- 第1回 NPOの基礎知識  
（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 代表理事 手塚明美
- 第2回 ボランティア・仲間の集め方  
NPO法人アクションポート横浜 代表理事 高城 芳之
- 第3回 非営利団体とお金の話  
（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 副理事長 藤井京子
- 第4回 NPO法人の立ち上げと運営の実務  
（一社）ソーシャルコーディネートかながわ 理事 西島朝子



### 〔受講生交流会〕

令和5年度かながわコミュニティカレッジ主催講座全ての受講生・修了生を対象に、2024年3月に受講生交流会を開催しました。受講生が互いの近況や活動状況を情報交換し交流することで、活動の活性化や今後の活動に向けたモチベーションの継続につながることを目的としました。

今年度の交流会は、ゲスト講師にNPO法人まち×学生プロジェクトplus 常務理事の原島隆行氏を迎え、「きっかけ」「場」「人」をキーワードに、世代を超えつながることの大切さや、どうやってつなげていくかなど、参加者自身の活動に照らしながらお話いただきました。ワークでは、原島氏が考案した『対話が弾む！「すごろくワーク』』を実際に体験し、参加者同士の交流を深めることができました。

令和5年度 受講生交流会

日 時：令和6年3月2日（土）13時30分～15時30分

会 場：会場 かながわコミュニティカレッジ講義室2

参加者：39名（令和5年度主催講座受講生）

参加費：無料

内 容：地域活動事例についてのミニ講演  
 対話が弾む！「すごろくワーク」の体験と参加者同士の交流  
 講師 原島 隆行 氏  
 (NPO 法人まち×学生プロジェクト plus 常務理事、  
 横浜市地域ケアプラザ地域交流コーディネーター)

【参加者の感想（一部抜粋）】

- ・様々な講座を受講されている人がいて、住んでいる場所や年齢も様々な方と、色々お話ができて良かった。
- ・すごろくワーク、楽しく実践できました。今年の自分のNPOの総会でやってみようと思います。
- ・すごろくトークをしてみて、初めて会う方を深く知ることができました。順番に話すことができるので、とても良いと思います。



2023 年度かながわコミュニティカレッジで開講した講座の一覧  
 (神奈川県主催講座) ★印はオンライン開催

講座名	講座企画実施団体名	開催日
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(基礎編)	NPO法人びな・パートナーシップ・ひろば	7/7~7/27
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(初・中級)	認定NPO法人神奈川被害者支援センター	7/7~9/22
防災教育ファシリテーター養成講座(初級編) 横浜会場	認定NPO法人かながわ 311 ネットワーク	7/8~7/29
傾聴講座(入門編)①~人と関わるボランティア活動に向けてのスタート~	NPO法人シニアライフセラピー研究所	7/11~8/8
災害ボランティア入門講座 ★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	7/20、7/27
災害ボランティアコーディネーター基礎講座	NPO法人神奈川災害ボランティアネットワーク (一社)ソーシャルコーディネートかながわ	7/29、8/5
防災教育ファシリテーター養成講座(初級編) 小田原会場	認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク	8/5~9/2
防災リーダーに必要な多様性に配慮した視点を学ぶ~女性、高齢者、障がい者、LGBT の困りごとを理解する~	NPO法人ジェンダー平等 Labota	9/2~9/30
NPO 会計講座 ★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ 協力:NPO法人税理士による公益活動サポートセンター	9/6~9/27
聞き書きボランティア養成講座	聞き書きの樹	10/19~11/30
地域のつながりで始めるあなたのウェルビーイング ★一部案オンライン	NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター	9/8~10/27

子どもがいる家庭への訪問支援講座おうちサポーター入門編(子育て支援関係者とボランティア希望者向け)	認定NPO法人びーのびーの	9/12～10/24
傾聴講座(入門編)②～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～	NPO法人シニアライフセラピー研究所	9/5～10/17
発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座(実践編)	NPO法人びな・パートナーシップ・ひろば	9/29～11/16
まち歩きガイドボランティア養成講座	NPO法人横浜シティガイド協会	10/6～12/8
共助の地域づくりを推進する講座	これからの福祉を考える会・横浜 (一社)ソーシャルコーディネートかながわ	10/11～12/6
新聞記者に学ぶ広報紙作りの基礎講座(NPO活動・地域活動向け)★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	10/14、21
傾聴講座(実践編)～ボランティア活動で良好な関係づくりを～	NPO法人シニアライフセラピー研究所	11/7～12/19
大人のひきこもりと発達障がいを考える講座	ふわふわの会 (一社)ソーシャルコーディネートかながわ	11/18～12/16
新聞記者に学ぶ情報発信スキルアップ講座～人に伝わる文章を書く技術を学ぶ～(NPO活動・地域活動向け)★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	11/22～12/13
傾聴講座(入門編)③～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～	NPO法人シニアライフセラピー研究所	11/7～12/19
～地域課題の解決に向けて、園芸活動を通じた仲間作りや支援の方法を学びましょう～ 園芸療法ボランティア入門講座	NPO法人日本園芸療法研修会	12/21～2/22
地域活動リーダー養成講座 ～アドラー心理学の「勇気づけ」対人援助スキルを学び、地域活動の担い手を目指そう～	輝楽理庵(きらりあん)	1/13～2/3
NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座★	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	1/11～2/1

**(連携講座) ★印はオンライン開催**

講座名	講座企画実施団体名	開催日
外国につながる子どもの学習ボランティア入門講座	NPO法人日本語・教科学習支援ネット	7/9～8/19
外国につながる子どもの学習支援者ブラッシュアップ講座	NPO法人日本語・教科学習支援ネット	7/9～9/3
スマホサポーター養成講座 基礎編	NPO法人 MIKs	7/29～8/26
～農業のちからと福祉のちからをつなぐ～ 農福連携コーディネーターの役割を知る	認定NPO法人藤沢市民活動推進機構	10/1～10/29
犯罪被害者支援ボランティア養成講座(上級)	認定NPO法人神奈川被害者支援センター	10/13～12/22
理科推進スタッフ体験講座	認定NPO法人おもしろ科学たんけん工房	10/18～2/7
防災教育ファシリテーター養成講座(上級編)	認定NPO法人かながわ311ネットワーク	10/28～12/9
野生動物リハビリテーター養成講座(講義編)	NPO法人野生動物救護獣医師協会 神奈川支部	11/19、12/3
回想法リーダー養成講座 ハイフレックス★	回想法プランニング	1/19～3/8
子どもシェルターのボランティア養成講座	認定NPO法人子どもセンターてんぼ	2/3～3/2

**(特別講座) ★オンライン開催**

講座名	講座企画実施団体	開催日
人生100歳時代のライフデザイン ～これからのあなたが輝く視点と行動～	(一社)ソーシャルコーディネートかながわ	7/1

## 4. 企業・大学等との連携、協働推進に向けた取組み

### (1) 災害時に機能する被災者支援のためのネットワークづくり

東日本大震災以降、国内各地の被災地において、発災後の長期にわたる被災者支援の「もれ・むら」をなくすために、NPO・ボランティアと行政、社会福祉協議会が連携の取れた支援活動を行う動きが進みました。神奈川県内においても、大規模災害が起きたときに備え、多様な専門性とネットワークをもつ NPO・ボランティア団体、職能団体、企業等の民間団体が、行政、社会福祉協議会と連携して被災者・被災地域の支援活動を進めるための環境整備が必要となっています。

2020年4月に当法人、認定NPO法人市民セクターよこはま、認定NPO法人かながわ311ネットワークの3団体が立ち上げた「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ」（以下、みんなかな）は、2023年度も「かながわボランティア活動推進基金21協働事業」に継続採択され、県レベルの災害時情報共有会議の枠組みづくりに向けて活動を進めました。みんなかなの活動を推進するため、理事1名がみんなかな事務局に出向しました。

主な活動として、神奈川県の協働部署（危機管理防災課、地域福祉課、NPO協働推進課、かながわ県民活動サポートセンター）、県社会福祉協議会、県共同募金会と定期的に会議を開催し、互いの災害時活動について理解を深めるため図上演習（ワークショップ）を実施しました。また、県内の行政、社会福祉協議会、NPO等民間団体の平時からの関係づくりの推進をめざし、学習会やフォーラムを開催しました。

また、横浜市男女共同参画センターが実施する「地域防災における男女共同参画の視点からの防災事業」に参画しました。横浜市旭区と瀬谷区で地域防災拠点の運営に関わる女性や拠点運営のリーダーを対象とした計6回の講座にメンバーを派遣して講座運営補助、報告書の作成を行いました。

### (2) かながわ人生100歳時代ネットワークへの参加

神奈川県では「かながわ人生100歳時代ネットワーク」という行政、大学、企業、NPO等が連携・協働するためのプラットフォームをつくり、県民一人ひとりが生涯にわたり生き生きと充実した生活を送ることができる社会を実現するため、「学びの場」から「活動できる場」へと繋ぐ仕組みの創出を目指しています。当法人は、NPO・中間支援団体としての立場で、創設時よりネットワークに参加しています。今年度も、かながわコミュニティカレッジ事務局が定例意見交換会に参加し、情報収集・交換・連携を行いました。

### (3) 地域の仲介活動

認定NPO法人日本NPOセンターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先を推薦しました。「障がいのある子どもを対象とした活動を行っている団体」や「自然災害の被災者支援、広域避難者支援を行っている団体」にお菓子の寄贈が届くよう、県内の市民活動支援センター6か所、コミュニティカフェ1か所、広域避難者支援活動団体に仲介手配しました。

#### <寄贈先団体・施設>

ダウン症児ときょうだい・ファミリーのためのサークル、mana(まな) 障害児の親子サークル(茅ヶ崎市民活動サポートセンター経由) / NPO 法人サポートハウス ワン・ピース(大和市民活動センター経由) / NPO 法人市民活動を支える会(おだわら市民交流センターUMECO 経由) / 特定非営利活動法人ワーカーズコープ座間地域福祉事業所放課後等デイサービス オリーブ(座間市民活動サポートセンター経由) / 藤沢市肢体不自由児者父母の会(藤沢市民活動推進センター経由) / NPO 法人 FunPlace39(横須賀市立市民活動サポートセンターより推薦) / NPO 法人スペースナナ / NPO 法人かながわ避難者と共に歩む会

## 5. 講師・委員等の派遣

自治体や各地の支援組織、市民団体などの依頼に応じてセミナーや学習会の講師、会議等の委員を務めました。

#### <講師・委員・アドバイザーなど派遣実績>

- ・川崎市指定 NPO 法人審査会委員 <西島>
- ・水源環境保全・再生かながわ県民会議 市民事業専門委員 <藤井>
- ・平塚市市民活動推進補助金審査会委員 <藤井>
- ・NPO 支援かまくらファンド審査員 <手塚>
- ・中央ろうきん助成制度“カナエルチカラ” 2024 選考委員長 <手塚>
- ・かながわ生き生き市民基金理事、選考委員長 <手塚>
- ・かながわ子ども未来ファンド助成選考委員 <藤枝>
- ・ほどがや市民活動センター評議会委員 <藤枝>
- ・環境パートナーシップオフィス(EPO) 及び地球環境パートナーシッププラザ(GEOC) 運営等業務外部評価委員会委員 <藤枝>
- ・「SDGs 達成に向けた NPO のための調査研究と研修開発事業」プロジェクト推進委員会委員<藤枝>
  
- ・かながわ民際協力基金申請応援プログラム 講師(かながわ国際交流財団) <2023 年 4 月、5 月、藤枝>
- ・NPO と行政と対話フォーラム' 23 全体セッション1「声を拾い上げ、支えを拡げる」コーディネーター(日本 NPO センター) <2023 年 8 月、藤枝>
- ・「ほどがやパワーアップ講座」講師(保土ヶ谷区) <2023 年 9 月、藤井、西島>
- ・環境学習リーダー養成講座「市民活動について」講師(神奈川県環境科学センター) <2023 年 10 月、手塚>
- ・市民団体向けセミナー「団体を成長させるための助成金や寄付金の活用」講師(横浜市社会福祉協議会) <2023 年 11 月、藤枝>
- ・ボランティア参加導入研修会 講師・企画運営(パルシステム神奈川) <2023 年 11 月、葉石、藤井、藤枝、西島>
- ・市民活動支援組織スキルアップ研修(基礎編)「支援ニーズを拾い上げる調査のコツ」講師(茨城 NPO センター・コモンズ) <2023 年 11 月、藤枝>
- ・市民セクター全国会議 2023 分科会 D-2「NPO 支援センターの実態とこれから～NPO 支援センター調査より」コメンテーター<2023 年 12 月、藤枝>

- ・ 市民活動団体のための助成金活用講座 講師（おだわら市民交流センターUMECO）  
＜2023年12月、手塚＞
- ・ 多文化共生フォーラム モデレーター（かながわ国際交流財団）  
＜2024年2月、藤枝＞

## 6. 総会・理事会の開催状況

2023年5月23日	第1回理事会
2023年6月20日	会員総会
2023年10月6日	第2回理事会
2024年2月15日	第3回理事会

以上